

# デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。

## 目次

### [概要](#)

[デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。](#)

## 概要

既定のキャッシュがポート 1000004 でおよびポート assignment を変更する方法をなぜ受信するかこの資料に説明されています。

## デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。

既定のキャッシュ データベースはで普通受信する必要があります ( ( 基礎ポート ) + 4 )。ただし、SP2 パッチとの v7.0.2 にアップグレードした場合、アップグレード プロセスが間違っ基礎ポートをので 1000000 解読し、こうしてポート 1000004 によって新しい既定のキャッシュを割り当てる既知 シナリオがあれば。

ポート割当てを確認するために cacheconfig\_install.log ファイルを ( /tmp の下で C:\Users\ <your userid> \AppData \ローカル\臨時雇用者の下でまたは Linux のために、見つけられる )、検知して下さい。

misassignment の例はここにあります:

```
-----  
優先するインストール モード: 監督無し  
監督無しモードの init インストーラへ試みること  
正常に初期化されるモード監督無し  
[15:09:38] ポートは 1000000 です  
[15:09:38] データベース ポートは 1000004 です  
インストールすることを準備  
-----
```

必要であればこのシナリオのレポ例にするので、強かに Postgres データベースのポート割当てを同様に変更できます- Postgres [ベースのリポジトリが受信することどのようにポートを変更しますか。](#)

その代り、シナリオをキャッシュするために既定のキャッシュ例に受信してほしいこと、

server\_values.xml ファイルのこれら二つの要素だけ修正し、新しいポートに変更して下さい。

```
<common: attribute>  
  <common: name>/server/config/cache/defaultCacheDatabase/connectionUrl</common: name>  
  <common: type>STRING</common: type>  
  <common: value>jdbc: postgresql://localhost: 1000004/ciscache</common:value>  
</common: attribute>
```

```
<common: attribute>  
  <common: name>/server/config/cache/defaultCacheDatabase/databasePort</common: name>  
  <common: type>INTEGER</common: type>  
  <common: value>1000004</common:value>  
</common: attribute>
```

それから、\リポジトリ\data\_cache \ postgresql.conf ファイルをそれに応じて修正して下さい。

```
#拡張の設定をここに追加して下さい  
port=1000004
```

質問がある場合 Cisco データ仮想化 サポートを呼出して下さい。